

6月議会

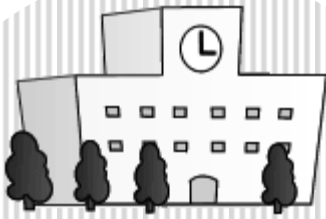
(6月6日～24日、19日間の会期を終えました。)

いのちを守る補正予算可決

日本共産党議員団、請願採択にむけても全力!

日本共産党
川西市議員団
ニュース

学校施設耐震化



清和台中、屋内運動場棟
川西南中、南校舎棟の
耐震補強工事の予算成立
来年3月工事完了予定

子どもの医療費補助



県の子ども医療
助成制度の拡充の決定。
*対象：小学校4年生～
6年生までの児童
*助成内容：通院医療費
自己負担額の1/3
を助成

無料クーポン送付



大腸がん検診、40歳以上
60歳まで5歳きざみで
検診手帳と検診費用が無料に
なるクーポン券送付の
予算決定

えーっ!
どうしたこと

発行
日本共産党
川西市議員団
市役所控室
TEL740-1111
内線4020
議員団直通
FAX759-1811
市議員団
住田由之輔
TEL・fax 759-4541
黒田 みち
TEL・fax 790-3055
北野のり子
TEL・fax 793-9515
森本たけし
TEL・fax 757-2127



議案

- * 川西市税条例の一部を改正する条例の制定について
- * 市立川西南中学校南校舎棟、清和台中学校屋内運動場耐震補強工事請負契約の締結について
- * 平成23年度川西市一般会計補正予算(第1回)
- * 平成23年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第1回)

6月24日
最終本会議
全員一致で
可決しました。

「30人以下学級実現、義務教育国庫負担制度拡充」を求める請願書の紹介議員になったのは、民主市民クラブ・自治市民クラブ、みんなの市政クラブ、日本共産党の4会派。文教公企常任委員会では、その他の委員は賛成にまわったのに、最終本会議では、日本共産党だけが即決・賛成に。他は、全員「継続」にしました。

請願

| | 即決すべき | 継続審査すべき |
|---|-------------------------|---|
| T P Pには参加しないよう国に意見書提出を求める請願 (H23年第一回定例会で提出) | 北上・宮坂 住田・黒田 北野・森本 | 安田忠・土田・多久和・津田・岡・福西・江見・平岡 大矢根・鈴木・大崎・安田末・吉田・梶田・久保・宮路 秋田・松田・吉富 |
| 「30人以下学級実現、義務教育国庫負担制度拡充」を求める請願 | 住田・黒田 北野・森本 | 安田忠・土田・多久和・津田・岡・福西・江見・平岡 大矢根・鈴木・大崎・安田末・吉田・梶田・久保・宮路 宮坂・北上・秋田・松田・吉富 |

子ども子育て新システムに関する意見書提出

(※小山議長)

やったー!

| | 賛成 | 反対 |
|--|--|-----------------------|
| 子ども・子育て新システムに関する意見書 (※請願はみなし採択になりました) | 住田・黒田・北野・森本・江見・鈴木 大矢根・平岡・大崎・安田末・吉田・梶田 久保・宮路・宮坂・北上・秋田・松田・吉富 | 安田忠・土田 多久和・津田・岡・福西 |

厚生経済常任委員会では、鈴木議員が反対でしたが、最終本会議で賛成に。

一般質問の巻

北野のり子、森本たけし、黒田みちの3議員が
6月10日、13日、一般質問に立ちました。
住田由之輔議員は副議長を務めています。

耐震改修へ負担軽減策を

(北野のり子議員)

市では、簡易耐震診断推進事業が実施されていますが、費用負担等、経済的な理由から耐震改修までいたらないという実態があります。東日本大震災を受け、市においてもいつでもどこでもおきてもおかしくない大災害に備え、所有者の負担軽減や事業の周知、建築物への耐震化の重要性について意識啓発を強化するよう求めました。

【質問】住宅リフォーム助成制度と耐震診断と合わせて実施することで相乗効果が期待できるのでは

(答弁) 住宅リフォームと住宅耐震診断は関係が深いですが、耐震診断を取り組む中で、市単独のリフォーム助成を新たに加えることは大変難しい。

【質問】耐震シェルター・防災ベッド・防災テールにも補助金を

(答弁) 現在のところ考えていない。

【質問】ブロック塀の撤去・改善補助制度を創設するべき



【北野のり子議員】

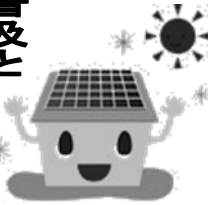


(答弁) 狭隘な市道に面する崩壊の危険性があるブロック塀のうち、道路拡幅に用地を寄付協力していただける区分にあるものにつきましては狭隘市道整備事業で市が費用負担し撤去を考えている。

【質問】家具等の固定費用の補助制度を創設するべきでは

(答弁) 自助の範囲であると考えている。

自然エネルギー普及と 低エネルギー社会への移行について



7月から川西市でも住宅用太陽光発電システム設置に対し市単独事業として補助金申請がスタートします

【質問】太陽光発電装置を公共施設に普及する考えは

(答弁) 設置費用の回収が問題。そのためには電力の買取制度が重要になっていくと思う。

【質問】蓄電池の助成を今後検討するべきでは

(答弁) 太陽光発電装置の設置への補助を優先させていくべきと考えているので今は、考えていない。

【質問】太陽光発電促進付加金についてどう考えているのか

(答弁) 太陽光発電を拡充していくためには付加金の増額もやむを得ない状況。



【森本たけし議員】

昨今の低投票率について 計画的な選挙啓発活動を

(森本たけし議員)

【質問】先の市長・市議選の投票率は約55%であり、その4年前の約59%からさらに低下し約6万人の川西市民の信託を受けていない議会ということになる。今後、更に投票率の低下が進むようであれば、民主主義の根幹を揺るがしかねない事態となりうる。多くの有権者、特に若年層に政治的関心を抱かせることが出来ない要因は何か? これまで有効な選挙啓発が出来ていたといえるか?

(答弁) 若年層の政治離れは全国的な問題であり、本市においても大きな課題として苦慮している。限られた予算内で選挙ポスターや横断幕による啓発活動を粘り強く続け、他市の事例も参考にしながら努力する。

【意見】議員がやることは言うまでもないが、本当に危機感を持ってやる気があれば、低予算でも新しい啓発活動は考えられます。今後、選挙と協議しながら、計画的で有効な啓発活動を提案していきます。

もしも...を想定して 住民の命と暮らしを守り抜く対策の強化を

(黒田みち議員)

東日本大震災を教訓に、川西市として住民の安心・安全が確保されるように「防災と災害時・緊急時の対応について」、①福井県にある原子力発電所(川西市から80km圏内)での地震・放射能事故への対策②一庫ダムの放射能汚染・大地震が起こった時の対策と飲料水の確保③市役所庁舎耐震化の現状と課題について、質問・提案を行いました。

(答弁) ①現地や国からの通知・報道の速やかな市民への周知を行う。必要に応じて、国に対して意見を言う。②ダムは、十分な安全性を確保するよう設計されている。震災以降、市内水源での放射能検査を行い、「検出せず」の結果をホームページ上で公開。11860立方メートルの水源確保(地震時、必要な水の83%)、500mlペット3万本備蓄。③庁舎は、築後20年近く(H4年完成)経過。現状を踏まえ、課題の研究をしていく。



【黒田みち議員】

①福井原発の点検、自然エネルギーへの転換など意見を伝えること。
②58年台風時、ダム放流で多田地域が水害。シミュレーションをし、対策を急ぐべき。
③市役所では、エレベーターに救急用ストレッチャーが入らないなどの問題があるので緊急時避難用の対策は急務。必要な資材を購入し、避難訓練を行うべき。

国民健康保険税値上げ中止を

川西市国保税の平均納付率は76.87%。払いたくても払えない世帯の増加、資格証明書(医療費窓口全額負担)や短期被保険者証の発行、受診抑制などの具体例をあげ、今年度の納付書がまだ発行前なので負担増をやめることを求めました。

(答弁) 値上げは中止しない。住民への周知は丁寧に行う。

【意見】資格証明書発行世帯の約50%、短期被保険者証発行世帯の約38%を所得ゼロ世帯。所得300万円以上世帯では資格証明書発行ゼロ。短期被保険者証もわずか5%。低所得世帯の困難さを明らかにし、1680万円あれば、所得100万円以下世帯(64.84%)と一番低い納付率(13338世帯・53%)、9200万円あれば、所得300万円以下世帯(22233世帯・88%)の値上げをやめることができることを強く訴えました。
医療を受けることを保障するために「国保44条」の窓口負担の免除・減免を行うこと、市として、「無料・低額診療制度」のPRの徹底。制度利用できる病院の誘致など求めました。